



## 研究紀要

### 思考力、表現力、伝え合う力を高め、互いに学び合う赤二っ子の育成

～モジュール学習を活用した英語教育における指導の充実～



平成 30 年 11 月 27 日(火)

鴻巣市立赤見台第二小学校

研究構想図

学校教育目標

## かがやけ 笑顔

あかるく 元気な子(身を鍛え)  
かんがえ 勉強する子(知を求め)  
みんなと なかよくする子(気を広く)

思考力、表現力、伝え合う力を高め、互いに学び合う赤二っ子の育成

—モジュール学習を活用した英語教育における指導の充実—

### 目指す児童像

英語活動 英語の音声に慣れ親しみ、自分のことや身近で簡単な事柄について、相手に伝えることのできる児童

英語 英語の音声に十分に慣れ親しみ、身近で簡単な事柄について、伝え合うことのできる児童

モジュール学習 歌やチャンツ、基本的な英会話を繰り返し練習することで、自信をもって発音することのできる児童

### 仮説 1

モジュール学習において、楽しさながら、英語の音声や文字、語彙、基本的な表現に慣れ親しませれば、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識及び技能を養うことができるであろう。(習得)

### 【手立て】

- ・週3回15分間(8:25~8:40)のモジュール学習の実施
- ・英語に触れる機会を増やすことによる音声表現の習得
- ・モジュール学習の指導計画を生かした効果的な指導
- ・意欲向上を目指した教材開発と掲示の工夫

### 仮説 2

目的意識や必然性をもたせた学習を開すれば、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を育むことができるであろう。(活用)

### 【手立て】

- ・HRTやALT、また児童同士の必然性のある積極的なコミュニケーション
- ・クラスルームイングリッシュの活用
- ・目的意識や必然性のある学習展開の工夫
- ・明確なねらいをもった指導と確実な振り返りの実施
- ・児童の意欲を高めたり、基礎的な音声表現に触れたりするためのICT機器の活用
- ・教師の伝え合う力を高めるため、All Englishでの実技研修

### 研究内容

#### 学習指導研究部

- モジュール学習指導計画の作成
- 振り返りカード(評価カード)の作成
- 研究授業記録及び研究協議分析

#### 学習環境研究部

- モジュール学習及び学習環境の整備
- 英語教育に関する掲示物の作成
- 児童の実態調査、分析

# 仮説 1

モジュール学習において、楽しませながら、英語の音声や文字、語彙、基本的な表現に慣れ親しませれば、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識及び技能を養うことができるであろう。(習得)

## ●本校のモジュール学習の特徴

We can! 2 Unit 3 [He is famous. She is great.]		Content of study.
Week		
1	1.Greeting (挨拶 曜日 月日 天気 時間) 2.Flash card 「p.20-p.21」 3.Practice ①会話練習	A: Do you like apples [bananas, carrots, nuts, peaches, cake]? B: I like apples [bananas, carrots, nuts, peaches, cake]. A: Do you want/have a dog [cat, soccer ball, baseball bat, badminton, kendama]. B: I want/have a dog [cat, soccer ball, baseball bat, badminton, kendama].
2	1.Greeting (挨拶 曜日 月日 天気 時間) 2.Songs 「Can you swim?」(Hi friends) 3.Practice ①会話練習	A: Can you play soccer? B: Yes, I can. I can play soccer. Can you play soccer? B: No, I can't. I can play baseball [badminton, kendama].
3	1.Greeting (挨拶 曜日 月日 天気 時間) 2.Songs 「Do you like...?」(English song No.7) 3.Practice ②会話練習	A: What do you eat? B: I eat fish. It's yummy! I like fish. A: What do you play? B: I play the violin [piano, recorder, drum].
4	1.Greeting (挨拶 曜日 月日 天気 時間) 2.Story time 「I like to watch rugby」 3.Practice ③会話練習	②Writing I like to watch rugby. It's fun. I like Kenji. He can run fast. He can jump high. He can play in the sun and the rain.

Let's Try! や We Can! に合わせた  
レッスンプランを作成

英語の音声や歌、文章表現に  
慣れ親しませる。

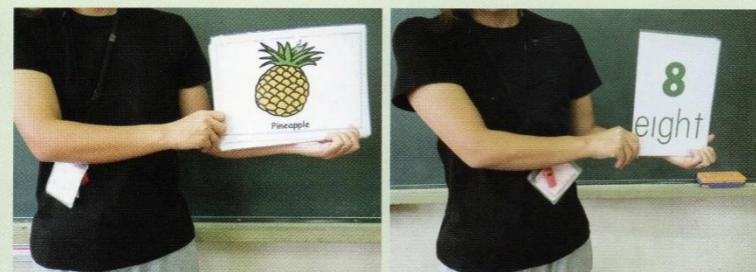
「聞くこと」「話すこと」を多く、  
「書くこと」も取り入れ、反復  
した学習指導を行う。

## モジュール学習

- ①全学年で実施する。  
(月 水 木 8 25~8 40)
- ②各学級で各担任が指導する。
- ③学習内容は、低学年、3年生、4年生、5年生、6年生の5つで構成する。



## ●モジュール学習や授業で使う教材の開発と作成



〈フラッシュカード〉



〈資料の整備〉



〈月・曜日 天気カード〉

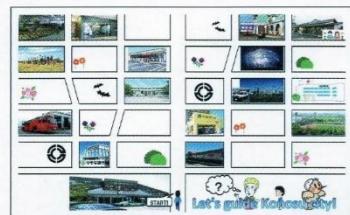


〈歌のCD・歌詞カード類〉

フラッシュカードは、各単元に合わせて作成し、ファイルに保存している。月曜日 天気カードは、普段から目につく場所に掲示している。歌のCDは、モジュールや授業ですぐに使用できるように、各クラスに配付している。歌詞カードは、児童が一人一冊持っている。

目的意識や必然性をもたせた学習を展開すれば、自分の考え方や気持ちなどを伝え合う力を育むことができるであろう。(活用)

インタビューする必然性のある学習カードの活用



●必然性のあるコミュニケーション

授業の中で、コミュニケーションをとる時間を十分確保した。



●校内研修

モジュール学習や授業で活用できる英会話表現をAll Englishで学んだ。

●和英辞典の活用

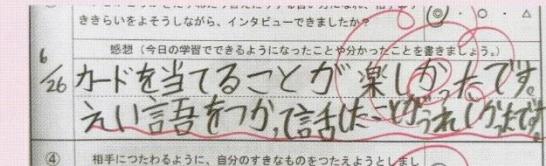
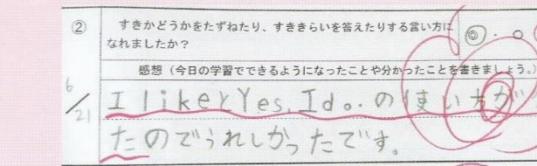
2人に1冊和英辞典を配付し、単語をすぐに調べられるようにした。



●評価カードの活用

事前に単元ごとの計画を立て、それぞれの時間で評価したい項目が考えられている。

Date	Item	Looking back
①	日本語と外國語では、色や果物、スポーツなどの言い方が、発音や言い方がちがうことに気付くことができましたか? 感想(今日の学習ができるようになったことや分かったことを書きましょう。)	◎ ○ □ △
②	すきかどうかをたずねたり、すきさらいを答えたりする言い方になれましたか? 感想(今日の学習ができるようになったことや分かったことを書きましょう。)	◎ ○ □ △
③	すきかどうかをたずねたり、すきさらいを答えたりする言い方になれましたか? 感想(今日の学習ができるようになったことや分かったことを書きましょう。)	◎ ○ □ △
④	相手につたわるように、自分の好きなものをつたえようとした かね?	◎ ○ □ △



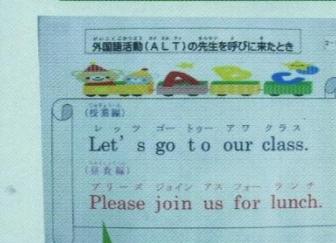
児童は、課題に沿って学習を進め、1時間の中で1つの評価規準について深く考えることができる。

児童の言葉から、課題を達成するだけでなく、英語に対する意欲が高まったり、英語で話せる喜びを感じたりしたことも分かり、次時の指導に生かすことができる。

●教室内の学習環境整備



《授業展開カード》  
授業の基本的な流れをカードにして掲示した。



《お迎えカード》  
ALTを迎える時の挨拶をまとめた。



●アンケートによる児童の実態調査

下学年と上學年に分けてアンケートを作成し、児童の実態調査を行い、指導に生かせるようにした。

《クラスルームイングリッシュの掲示》  
教師からの簡単な英語の指示をカードにまとめた。

●校内の学習環境整備

モジュール学習で練習した文章を階段掲示にして、毎日目に触れるようにした。また、校舎内の各部屋の案内も英語表記にした。



季節や月ごとに掲示物を変え、児童の興味関心の向上を図った。



学習内容に合わせた掲示物も作成し、学習したことを振り返られるようにした。

# かがやけ 笑顔

あかるく 元気な子(身を鍛え)  
かんがえ 勉強する子(知を求め)  
みんなと なかよくする子(気を広く)

## 思考力、表現力、伝え合う力を高め、互いに学び合う赤二っ子の育成 —モジュール学習を活用した英語教育における指導の充実—

### を目指す児童像

英語活動 英語の音声に慣れ親しみ、自分のことや身近で簡単な事柄について、相手に伝えることのできる児童

英語 英語の音声に十分に慣れ親しみ、身近で簡単な事柄について、伝え合うことのできる児童

モジュール学習 歌やチャンツ、基本的な英会話を繰り返し練習することで、自信をもって発音することのできる児童

#### 仮説 1

モジュール学習において、楽しませながら、英語の音声や文字、語彙、基本的な表現に慣れ親しませれば、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識及び技能を養うことができるであろう。(習得)

#### 【手立て】

- ・週3回15分間(8:25~8:40)のモジュール学習の実施
- ・英語に触れる機会を増やすことによる音声表現の習得
- ・モジュール学習の指導計画を生かした効果的な指導
- ・意欲向上を目指した教材開発と掲示の工夫

#### 仮説 2

目的意識や必然性をもたせた学習を開すれば、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を育むことができるであろう。(活用)

#### 【手立て】

- ・HRTやALT、また児童同士の必然性のある積極的なコミュニケーション
- ・クラスルームイングリッシュの活用
- ・目的意識や必然性のある学習展開の工夫
- ・明確なねらいをもった指導と確実な振り返りの実施
- ・児童の意欲を高めたり、基礎的な音声表現に触れたりするためのICT機器の活用
- ・教師の伝え合う力を高めるため、All Englishでの実技研修

### 研究内容

#### 学習指導研究部

- モジュール学習指導計画の作成
- 振り返りカード(評価カード)の作成
- 研究授業記録及び研究協議分析

#### 学習環境研究部

- モジュール学習及び学習環境の整備
- 英語教育に関する掲示物の作成
- 児童の実態調査、分析